

【第1分科会】竹原市小学校教育研究会国語部会

『本に親しみ主体的に学ぶ児童の育成』

提案者 竹原市立竹原西小学校

I はじめに

竹原市小学校教育研究会国語部会は、令和4年度から「本に親しみ主体的に学ぶ児童の育成」を研究テーマに、小学校学習指導要領や広島県子供の読書活動推進計画に基づく実践的な研究を進めてきた。広島県子供の読書活動推進計画（第四次）に示された「本に親しむ」「目的に応じて読む」「本から学び自らの考えを深める」を視点とした実践や、「読書習慣を支える環境整備」を市内各校で進め、各校の特色ある取組を実践事例集としてまとめた。これらの実践例の中から、竹原西小学校の授業研究を中心に報告する。

II 取組の概要

(1) 第3学年 国語「本をしょうかいしよう—『読みたい本グランプリ』に挑戦—」

学習指導要領「A話すこと・聞くこと」(1)ア「目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。」を単元の目標とし、ビブリオバトルやブッククラブの要素を取り入れた本を紹介し合う活動を行った。単元の導入時と決勝の審査、講評は、学校司書や読書ボランティアの方に御協力いただいた。

(2) 第4学年 国語「本をみんなにすすめよう—ポップづくりに挑戦—」

学習指導要領「C読むこと」(1)オ「文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。」を単元の目標とし、本を読んで自分の感想をもち、お気に入りの本を紹介し合う言語活動を位置付けた。単元の導入で、地域の書店員に書店で使っているポップ、ポスター、本の帯を紹介していただいた。児童は本物を見ることで目指すイメージをもち、学習意欲を高めることができた。

(3) 第4学年 外国語活動「お気に入りの本を紹介しよう」

学習指導要領の(3)話すこと[発表]イ「自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。」を目標に、自分の好きなシリーズとお気に入りの本を紹介する活動を行った。自分が好きな本やその本に出てくる中心人物、動植物、本の特徴、日本十進分類法(NDC)の分類番号などを英語で表現し、3年生に本を薦める発表を行った。

III 提案のポイントとなる内容、協議したい内容

(1) 本に親しみ主体的に学ぶことを促す学校図書館・図書資料の活用

(2) 各校の特色ある取組からの学びと今後の展望

IV 成果・課題

- ・おススメの本を紹介するという目的意識を持って、本の魅力となる事柄を集めたり選んだりして表現することができ、そのよさを認め合うことや読書の幅を広げることもつながった。
- ・育成したい資質・能力やルーブリック等を見童と共有し、自分自身の成長を実感させていきたい。

V おわりに

今後も各校の実践から学び合い、研究を深めていきたい。国語部会、竹原西小学校の研究推進にあたり、丁寧に御指導いただいた広島大学大学院人間社会科学研究科教授 山元隆春先生、広島県教育委員会義務教育指導課指導主事 福田菜津美先生、竹原市教育委員会の皆様に、心より感謝申し上げます。